



かとう

第49号
2019.5

市議会だより

加東市特産「三草茶」がつなぐ地域交流と
ものづくりで広がる学び

1月臨時会・3月定例会

議会報告会を開催します!

午後7時から

5月8日(水) 南山活性化支援施設(ミナクル)

9日(木) 河高交流センター

10日(金) 社公民館

コスミックホール 外壁修繕工事 着手へ

1月臨時会

一般会計補正予算(第7号)

◎東条文化会館外壁タイル修繕実施設計237万6千円

◎新設子ども園保育業務支援システム304万2千円等

【問】コスミックホールの外壁の剥離等修繕の実施設計を外部委託しているが市職員の建築士ではできないのか。

【答】市職員に建築士はいるが、今年度に関しては、小中一貫校の整備やこども園の整備等があり仕事量が多く外注にした。

【問】外壁修繕の仕上げがモルタルの吹きつけである、デザインが無茶苦茶になるのでは。

【答】今回修繕する面については、上から吹き付ける仕様としてるので、修繕しない外壁面とは仕上げは異なる。

【反対討論】公共施設適正配置計画に従えば、外壁タイルの剥離で危険性があるなら使用を停止すべきである。(小川)

賛成多数で可決

市立小中学校学習者用タブレットパソコン購入の件

◎学習用タブレットパソコン362台及び付属品

・購入予定金額 9720万円

・契約の相手方 (株)さくらケーシーエス

【問】制限付き一般競争入札だが、応札が1者だけである。競争の原理は働いているのか。

【答】他の入札者があることを予想して入札されているため、競争性は失われている。

【問】仕様書に特定機種名を指定すると、他者参加の障壁になるのでは。

【答】同等品でも可能であるとしている。

【反対討論】競争原理が働くような入札に改善しようとする意思すら感じられない。結果として高価な買い物をしている。(藤尾・北原)

賛成多数で可決

3月定例会

一般会計補正予算(第8号)

◎新定地区地滑り応急対策工事2000万円

◎事業費確定による減額等

【問】新定地区の地すべり工事であるが最終的にどう対応しようとしているのか。

【答】現在調査中であり、横ボーリングで水抜きなどをしたうえで、道路の復旧を目的として災害認定を受けていきたい。今回は応急的に排土工を行う。

【問】社会資本整備総合交付金事業で、当初予算より7千万円あまり減となっているが、道路を安全に維持していく上で大丈夫か。

【答】減額の主な工事内容は、山麓線と梅の木峠芦原線、5カ所の法面の分に国の交付金が多かったため減額している。

【問】空き家活用支援事業で720万円減額となっているが何か対策を取らなければならない時期に来ているのでは。

【答】空き家を活用した地域交流拠点として予算500万円を確保していた。社商店街で調整してきた

が、まだその改修には及んでいないため減額をした。

【問】東条福祉センター指定管理委託料で休業補償をしているが、テナント等にも休業補償をするのか。

【答】使用許可であるので、そういった補償の対象にはならない。

全会一致で可決

水道事業会計補正予算(第3号)

【問】委託料及び工事費が大きな額で減額となっているがこの時期まで残しておかないといけなかったのか。

【答】国庫補助金予定額が入ってこなかったため、減額して発注した。しかし年度途中に国の補正で増額になる事もあるのでこの時期となった。

全会一致で可決

病院事業会計補正予算(第4号)

【問】入院収益が増で外来収益が減となっているがその要因は。

【答】当初見込んでいた外来患者数がそこまで伸びなかったということである。

全会一致で可決

条例改正等

自家用有償旅客運送条例の一部改正

総務文教常任委員会に付託

↓p7

全会一致で可決

財産の交換、譲与、無償貸付等に関する条例の一部改正

総務文教常任委員会に付託

↓p7

全会一致で可決

都市計画マスタープランを定める件

産業厚生常任委員会に付託

↓p8

〔反対討論〕

加東市西部における交通結節点は滝野社インターであり、Bioを交通結節点としてバスターミナルを建設する考え方が間違っている。(藤尾・小川)

〔賛成討論〕

バスターミナルの整備は昨年議決した総合計画にも書いてある。市役所の梯子を外すようなことはできない。(大畑)

賛成多数で可決

契約

有線テレビ施設撤去工事変更請負契約締結

撤去工事において、撤去設備等の数量増減による工事費精算により、94万9320円の減額となる。

人事

監査委員の選任

高橋 優氏 (久米)

全会一致で同意

人権擁護委員の推薦

山口義徳氏 (東実)

山羽 勲氏 (高岡)

全会一致で適任と答申

教育委員会委員の任命

藤本洋二氏 (岡本)

賛成多数で同意

議会関係

市議会の議決すべき事件に関する条例の一部改正

『公共施設の適正化に関する計画』を議決対象から外すもの。(藤尾・小川)

〔反対討論〕

基本的な大きな計画を全て予算で判断すればいいという方法は議会としてのやり方ではないと思います。反対する。(鷹尾・廣畑)

〔賛成討論〕

市長の権限を全面的に認めるという立場から賛成する。(大畑)

賛成多数で可決

請願

東条小中一貫校建設事業に反対する請願

総務文教常任委員会に付託

↓p7

〔反対討論〕

東条地域で市民の声を聞いたが、多くは「ここまで来たら進めるしかない」との意見。(大畑)

今までも被害はあっただろうが、東条東小中学校の校歌に「川の流れを友として」とあるように住民は東条川に畏敬の念を抱いていた。今後は防災教育に努めるべき。(廣畑)

子ども・保護者の心の中にはすでに「東条学園」がある。子ども・保護者の目線に立って考えるべき。(別府)

〔賛成討論〕

新しく建築するのならより安全な場所を選んで建てるべき。(鷹尾)

さまざまな指摘をしてきたが何も取り入れられず建設に賛成はできない。(長谷川)

洪水・地滑り等危険性が予測される場所に学校建設すべきではない。(北原)

最後の最後に洪水による想定浸水深が1mではなく1.8mだったと変更する市の説明が信用できない。(藤尾)

賛成少数で不採択

第83回臨時会・第84回定例会 議決結果一覧 (賛否の分かれたもの)

○…賛成 ×…反対 棄…退場し棄権

議案番号	議案	北原	別府みどり	鷹尾直人	廣畑貞一	古跡和夫	大畑一干代	高瀬俊介	長谷川幹雄	石井雅彦	岸本眞知子	小川忠市	小紫泰良	藤尾潔	桑村繁則	山本通廣	井上茂和	議決結果
第1号議案	平成30年度一般会計補正予算(第7号)	×	○	×	×	×	○	○	○	○	○	×		×	×	×	○	可決(賛成8反対7)
第2号議案	加東市立小中学校学習用タブレットパソコン購入の件	×	○	○	○	×	○	○	×	○	○	×		×	×	×	○	可決(賛成8反対7)
第11号議案	平成31年度加東市一般会計予算	×	○	棄	○	×	○	○	×	○	○	×		×	×	×	○	可決(賛成8反対6棄権1)
第12号議案	平成31年度加東市国民健康保険特別会計予算	○	○	○	○	×	○	○	×	○	○	×		○	○	○	○	可決(賛成12反対3)
第13号議案	平成31年度加東市後期高齢者医療特別会計予算	○	○	○	○	×	○	○	×	○	○	×		○	○	○	○	可決(賛成12反対3)
第14号議案	平成31年度加東市介護保険保険事業特別会計予算	×	○	○	○	×	○	○	×	○	○	×		○	○	○	○	可決(賛成11反対4)
第15号議案	平成31年度加東市水道事業会計予算	×	○	○	○	×	○	○	×	○	○	×		×	○	○	○	可決(賛成10反対5)
第16号議案	平成31年度加東市下水道事業会計予算	×	○	○	○	×	○	○	×	○	○	×		×	○	○	○	可決(賛成10反対5)
第17号議案	平成31年度加東市病院事業会計予算	×	○	○	○	○	○	○	×	○	○	×	議長	○	○	○	○	可決(賛成12反対3)
第19号議案	加東市駐車場条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	×	○	可決(賛成14反対1)
第23号議案	加東市職員定数条例の一部改正	×	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○		○	○	○	○	可決(賛成13反対2)
第29号議案	加東市有線テレビ施設撤去工事変更請負契約締結	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		×	○	○	○	可決(賛成13反対2)
第30号議案	加東市都市計画マスタープランを定める件	×	○	○	○	×	○	○	×	○	○	×		×	○	×	○	可決(賛成9反対6)
議員提出議案第1号	加東市議会の議決をすべき事件に関する条例の一部改正	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	×	可決(賛成11反対4)
請願31-1号	75歳以上の医療費負担の原則2割化に反対する請願	○	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×		×	×	×	×	不採択(賛成3反対12)
請願31-2号	東条小中一貫校建設事業に反対する請願	○	×	○	×	○	×	×	×	×	棄	×		○	×	○	×	不採択(賛成6反対8棄権1)
陳情31-3号	東条地域小中一貫校の計画を見直す陳情	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×		×	×	×	×	不採択(賛成1反対14)

※その他の議案は全会一致で可決

東条学園の建設予定地の 安全性など集中審議

東条地域小中一貫校建設事業

13億3867万1千円

【問】建設予定地の安全性について疑問の声もあるが、改めて市の見解を聞きたい。

【答】千年に一度の洪水の想定は、市民の防災意識の高揚などのために発表されたものであり、建設などに制限が伴うものではない。土砂災害特別警戒区域についても、新築する場所については指定となっていない。現在の校舎の一部は土砂災害警戒区域に入っており、建設により生徒の安全性を確保する必要がある。

【問】今回、小中一貫校の建設に着手できなくなった場合、5年10年建設に取り掛かれなと思う。国や県との信頼関係も損なわれると考える。市長の見解は。

【答】数年前から国や県に補助要望をしてきた。今回予算が確保できないとどうしようもない。合併特例債も使えず財政負担も出てくる。国や県との信頼関係も損なわれてしまう。

【問】財源で国庫補助金を約10億円過大に見積もって

いた問題について、前副市長は「国や県に補助金の増額を要請していく」と述べていた。結局財源は確保できたのか。

【答】エコスクールプラスということで、金額はわからないが基本の金額に25%加算できると聞いている。

【問】あと少しであの学校で学べるという子どもたちから夢や希望を奪って喪失感を持たせると発達心理學上どのような影響があるのか。

【答】良い影響があるとは決して言えない。

【問】追加資料で、千年に一度に改められた経緯や土砂災害特別警戒区域に指定される経緯がわかった。後追いではなく、初めからこのような説明をしていればこのような混乱にならなかったのでは。

【答】説明に丁寧さを欠いていた部分はあるが、安全な場所だとの思いに変わりはしない。

【問】1階に床上浸水1mとの想定だが、東条文化会

館から+3.4mだと+1.8mになる。計算誤りではないか。

【答】兵庫県に確認の上+1mとしている。（後日、+1.8mに訂正）

【問】市は3階の体育館は1階より7.6m高く、指定緊急避難場所の要件を満たすため安全と言っているが、1階への浸水が予測される状況で避難しようとは普通考えない。あの場所が危険であるとの認識のもと、米田小学校等、別の場所への避難計画を立てるべきでは。

【答】あの場所が安全であるとの思いに変わりはしない。

【問】入札時に地元業者に何割か発注する等、条件を付す考えは。

【答】検討していきたい。



東条学園建築模型

バスターミナル整備事業 2億1427万8千円

【問】バスターミナル整備の理由を問う。

【答】B10周辺を「まちの拠点」として活性化していく中で、交通結節点としてのバスターミナルが必要であると考えた。

【問】バス事業者との調整はできているのか。

【答】綿密に協議を重ねている。

【問】大阪行き的高速バスを発着させるといふ話は進んでいるのか。

【答】前向きに協議を行っている。

【問】2月に、高速バス利用者アンケートを取っていたが結果はまだか。また、普通はアンケートで必要性があるから計画するものであり、手順が逆ではないか。

【答】3月にもう一度アンケートを取るので結果は出ていない。

【問】数値的な目標は。

【答】現在の神姫バス営業所と同程度の日6000人、年間約20万人の利用を見込んでいる。

産業振興部

【問】集落営農の農業機械の助成が、国・県との合算では減っている。こうなったのはなぜか。

【答】この事業は国・県の補助を受けていただくことが前提である。市の予算としてはこれが限度である。

都市整備部

【問】加古川右岸の築堤の事業が進んでいるが、左岸についてはどうなっているのか。

【答】右岸の暫定堤防完成後取り組んでいく予定である。

【問】新町交差点から滝見橋までの道路はいつ供用開始するのか。

【答】2020年7月に新しい滝見橋と同時に供用を開始する予定である。

【問】特別指定区域の新規居住者の利用区域の設定が全く進んでいない。

【答】空き家対策と同時に、地区に対して説明を続けている状況である。

市民協働部

【問】従来懸案となっていた上中残土処分場に滝野地域の残土を持ち込むことに理解は得られたか。

【答】市道上中牧野線の拡幅などにより進入の安全確保が図られたということとで理解が得られた。

【問】加東市のゴミ収集はすべて直営であるが、民間委託を進めるべきでは。

【答】今年度から新たに収集業務を行う滝野地域では民間委託を行う予定である。

健康福祉部

【問】介護ファミリースポーツ事業で、依頼会員に対して協力会員が少ない状況において、協力会員となるための講習が従来のように年一回で足りるのか。

【答】来年度から開催方法を改め、中央で行う研修は、県知事の修了証が出るような担い手研修として考えている。協力会員となるための研修はもっと細かい単位で進めていきたい。

教育委員会

【問】アフタースクールで29人の待機児童が出ていると聞くが要因は。

【答】実施場所と支援員が確保できなかったことが要因。現時点では、夏休みの利用者増についての対応に努めている。

【問】旧社ごども園の管理棟を発達サポートセンターに転用する費用7400万円は高額すぎるのでは。

【答】現在2階の一部は調理室となっており、器具の撤去費用などを含んでいる。

総務財政部

【問】庁舎の電灯を約4100万円かけてLED化するとのことだが、回収するのに何年かかるのか。

【答】約20年である。

まちづくり政策部

【問】加東市において、ふるさと納税の結果は。

【答】加東市への寄付が2970万円、返礼品等の経費が1610万円程度。他市への納税等加東市からの税額控除が2650万円程度だが、75%が交付税措置されるため差し引き約600万円のプラスである。

平成31年度一般会計予算

反対討論

バスターミナルに関しては費用対効果等の検討が不十分。旧東条庁舎跡地のドクターヘリ離着陸場は近隣住民との調整ができておらず緊急性もない。公共施設適正配置計画に沿っていないコスミックホール運営の予算化にも反対する。(小川)東条学園を危険な場所に建設することや、オリンピックの建設推進による資材高騰で事業費がかさむことに責任を取れる議員は賛成すればよい。(北原)小中一貫校整備予算は市民に説明した時よりも10億円の見込み違いが生じている。公共施設適正配置計画全体での新たな起債の見込みが約100億円から150億円に大幅に増えるので反対する。(藤尾)

賛成討論

アフタースクールの充実、みらいこども園の運営開始など子育てに配慮された予算であり賛成する。(岸本)仮に否決するとすれば、学校建設のみならず多くの事業を進めることができず市

民生活に大きな影響を及ぼすため賛成する。(高瀬)

資材高騰がおちつくまで待てと言ってもいつになるかわからないし落ち着く保証もない。学校建設で何かあれば責任を取れと言うなら孫子の代まで責任を取る覚悟である。(大畑)

今回の予算に関しては、加東市の躍動する未来が見えるので賛成する。(廣畑)

賛成多数で可決

平成31年度国民健康保険特別会計予算

反対討論

一般会計に反対したため、繰出金が含まれるすべての予算に反対する。(小川)

賛成多数で可決

平成31年度水道事業会計予算

反対討論

適正な料金設定の支援業務を、上下水道事業会計合わせて約20000万円でコンサルタントに委託しているのは納得できない。仮に改定するにしても自分たちで料金を検討すべき。(藤尾)

賛成多数で可決

Bio周辺を『まちの拠点』に!!

バスターミナル、複合施設 パーク&バスライド駐車場整備

こんな審査をしました

所管事務調査

中心市街地活性化に向けた
取組について

【過去からの経緯】

(変更前)

○場所 国道175号・372号交差点直近

○内容 休憩施設、地域振興施設の一体型道の駅
(変更後)平成27年1月

○場所 Bio及びその周辺

○内容 まちの拠点として
・人が集うにぎわい
・くつろぎと文化
・子育て・健康福祉
・交通結節点

・市内観光
・新しい仕事と雇用



【今後の予定・検討項目】

・バスターミナル整備
・パーク&バスライド駐車場整備

・複合施設整備
・区域の街灯等の整備
・道路、河川の整備
・道路ネットワークの構築

【問】この計画期間はいつまでなのか。

【答】今あるものは活用して、民間に任せられるものは民間に、という整備方針なので時間がかかってしまうと思われる。よって計画期間というものは設けていない。

【問】駅等を結ぶ都市型循環バスは走らせる予定なのか。

【答】バス事業者、タクシー事業者とはそのことで協議に入っている。

【問】道の駅構想がBio周辺に変更となった理由は。

【答】商業施設が分散するということはあるので、既存の施設を活性化していくためにBio周辺へと変更した。



いいとこかう ichiの様子

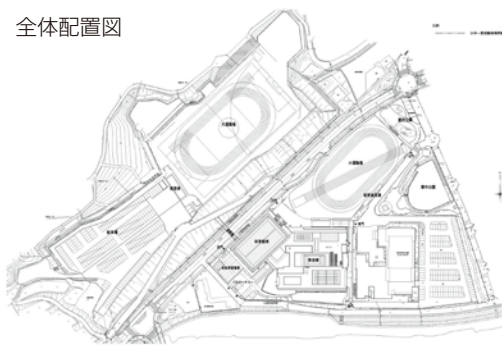
東条地域小中一貫校『東条学園』

こんな形に!! 実施設計固まる

所管事務調査

東条地域小中一貫校の実施設計について

全体配置図



【内容】

●レイアウトの検討

3回の教職員プロジェクト会議で検討。

3月中には完了

●施設概要

延床面積13,761.45㎡
(部室棟を除く)

鉄筋コンクリート造・一部鉄骨造4階建て(屋上にプール) 地震に強い構造体

●設備

太陽光発電システム
マンホールトイレ
地熱利用の空調システム

【問】今回の資料は最終案なのか。

【答】設計の工期としては、3月までとなっており、今回は経過報告として提出しているが、これで最終案にしたい。

【問】洪水の時の指定緊急避難場所に指定できるのか。

【答】指定できると考えており、防災機能を持たせている。

【問】プールを屋上に配置した経緯を改めて問う。

【答】子どもたちの主な活動は運動場であるため、小運動場を確実に確保すべく、夏場しか使わないプールを屋上とした。

請願及び陳情審査

東条小中一貫校建設事業に反対する請願

【趣旨】

現在建設を進めている予定地は集中豪雨による洪水、大地震による地滑り等の自然災害が発生した場合、安全であるとはいえない。
反対討論 建設を楽しみにしている市民の気持ちを大事にしたい。(廣畑)
賛成討論 安全であると確認できない場所には建設すべきでない。(鷹尾)

賛成多数で採択

東条地域小中一貫校の計画を見直す陳情

【趣旨】一、予定地は県が危険な地と指定。その地に建てる学校では子どもの命が守られない。
二、住民投票で市民に総意を得てから取り組むべき。

反対討論 陳情者への質疑の中で、「住民投票にはこだわらない」と回答があったが、これでは陳情の趣旨が変わり審査のしようがない。(藤尾)

賛成なしで不採択
75歳以上の医療費負担の原則2割化に反対する請願

(藤尾)

【問】75歳になると全てが2割負担になるのか。

【答】国の方で今検討中なので詳細は把握していない。

賛成討論 低所得者へは1割を維持すべきである。(古跡)

賛成少数で不採択

付託議案審査

自家用有償旅客運送条例の一部改正

賛成多数で可決
財産の交換、譲与、無償貸付等に関する条例の一部改正

賛成多数で可決

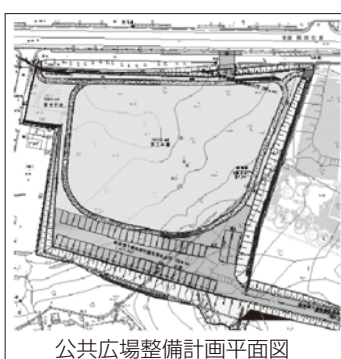
所管事務調査

公共広場整備工事について

【内容】加東みらいこども園の西側に、普段は多目的広場として、災害時には救護物資等の集積拠点などに活用。

【問】いつ完成するのか。

【答】8月末に完成予定である。



公共広場整備計画平面図

その他の主な事務調査

●北播磨清掃組合からの脱退に係る財産処分の協議について

●市公共交通施策の平成30年度取組状況の報告について

まち・ひと・しごとが 自然とともに発展するまち 加東

～都市計画 マスタープラン～



■加東市都市計画マスタープランの対象区域

付託議案審査

都市計画マスタープランを 定める件

【趣旨】

県の東播磨地域都市計画区域マスタープランが2016年3月に見直された。また、本市も第2次総合計画を2018年3月に策定している。このような状況を踏まえ、本市全体にわたる都市計画を展望し、都市づくりの長期的な方向性を

こんな審査をしました

示すため、都市計画マスタープランの見直しを行なった。

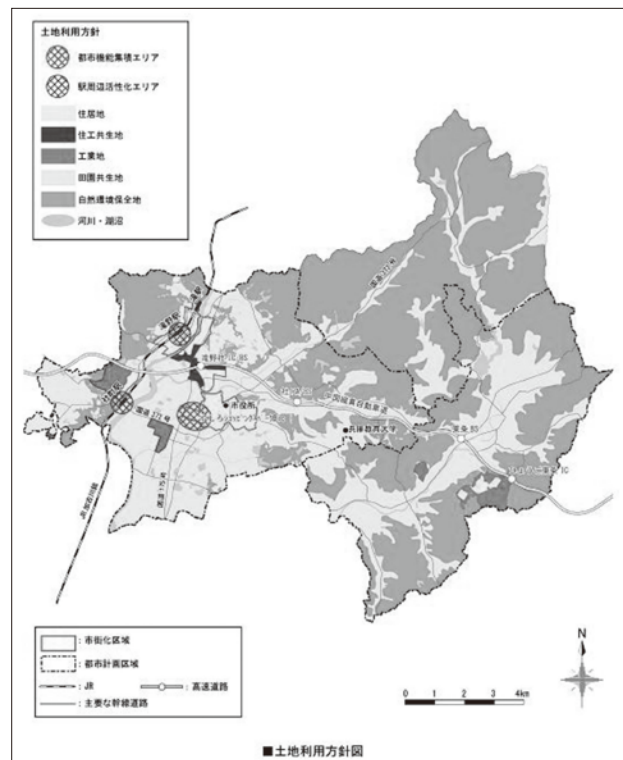
【問】当初計画は、中国自動車道と国道175号の交差点部を都心拠点としていたが、なぜ、Bio周辺に変わるのか。

【答】インター周辺については沿道サービスが充実しているが、Bio周辺では、官公庁や大型商業施設など複合施設が存在し、そこを拠点として住民が活動し新しい賑わいや文化の交流を創出できる場所として、まちの拠点としてふさわしいバスターミナルを整備して交通結節点機能を持たせた上で、国道372号とのアクセスを強化し、様々な施設を誘導し、拠点とする。

【問】Bio周辺に方針を転換したのか。

【答】都心拠点は、社、滝野地域の市街地を一体として考えている。当初の計画は、特定の位置でなく大きなエリアで捉らえていた。今回のマスタープランは、ピンポイントで記載している。

【問】地域別構想について、



■土地利用方針図

議していただいた。

賛成多数で可決

所管事務調査

空き家対策事業について

【問】所在者不明があるのか。現況はどうか。

【答】所在者不明は何件かある。劣化が進んでいるものについては調査している。

【問】情報の提供は、区長会、自治会に依頼していないのか。

【答】平成31年度は、状況等を鑑み依頼を考えている。各区長と協議しながら各地区で説明会を行っている。

滝野地域にお住まいのみなさまへ

発行：滝野地域連絡会（滝野地域協議体）
（加東市生活支援体制整備事業）

コープこうべの 毎週土曜日！ 移動店舗

祝祭日でも来るよ！

あなたのそばまで
お店がやって来ます！



おすすめ①
車を運転できないなどお買いもの
にお困りの方におすすめ！

おすすめ②
お買いものに出かける
時間を節約！
燃料を節約！

おすすめ③
暑い日も寒い日も
雨の日も風の日も祝日も
あなたのおうちの近くまで
やってきます！

おすすめ④
商品を安価に
手にとって
お買いものができます！

おすすめ⑤
移動店舗に無い商品は
次回の訪問時にお持ちします！

おすすめ⑥
お魚・お肉は当日加工で新鮮！
「生」の商品をおすすめ！
もちろん商品の温度管理も万全！

◆トラックに 800 品目以上の商品を豊富に品揃え！
野菜、果物、お魚、お肉、種類、とうもろこし、牛乳、たまご、パン、
惣菜、お菓子もアイスクリームなどなど 日用品もあるよ！
◆お支払は現金、または商品券で。（クレジットカード、コンビニは使用できません）
◆組合員の方は、組合員証をお持ちください。（お買いものポイントが貯まります）
※組合員価格のお得な商品もございます。

※利用所ではご近所の方とおしゃべりやふれあいも！運転手のおしゃべりも楽しい！
みなさまでお話し合わせの上、是非お越しください。

高齢者の買い物支援等、移動手段について

●移動販売車の導入

買い物支援の取組として、滝野地域連絡協議会において移動販売のワーキンググループを立ち上げ、コープこうべ、市との協議、連携を重ねながら協定を締結し、平成30年4月から移動販売がスタートした。

【問】利用者が減少しているが協議会の意見を聞いているか。

【答】アンケート・PRはしており、買い物の荷物が重いとの意見を聞いている。

●介護ファミリースupport

援助してほしい高齢者と援

滝野地域にお住まいのみなさまへ

発行：滝野地域連絡会（滝野地域協議体）
（加東市生活支援体制整備事業）

移動販売車が巡回しています！ 毎週土曜日！

祝祭日の土曜日でも来るよ！

※運行上の都合により、販売時間が多少異なる場合があります。

地区	停留場所	開始時間	終了時間	販売時間
① 高岡	高岡コミュニティセンター	11:00	11:15	15分間
② 河高	河高農産部1班 構造改善センター	11:25	11:40	15分間
③ 下滝野	下滝野公民館	11:50	12:05	15分間
④ 上滝野	関電すくえあ	12:15	12:30	15分間
⑤ 光明寺	光明寺地区集落センター	12:40	12:55	15分間
⑥ 多井田	農村広場	13:40	13:55	15分間
⑦ 曾我	曾我 594-1 付近空き地	14:05	14:20	15分間
⑧ 稲尾	稲尾地区集落センター	14:30	14:45	15分間
⑨ 新町	新町研修センター	14:55	15:10	15分間
⑩ 北野	北野コミュニティセンター	15:20	15:35	15分間
⑪ 穂積	穂積地区集落センター	15:45	16:00	15分間

みなさまでお話し合わせの上、是非お越しください。

コープこうべよりお願い

お買い物の都度商品代金と併せて「移動店舗協力金」をいただきます

■商品代金（税別）1,500 円未満の場合⇒10%+税
例：商品代金（税別）1,000 円の場合⇒100 円+8 円
■商品代金（税別）1,500 円以上の場合⇒150 円+12 円（上限）

助活動をした方と結び、話し相手や家の中の整理、簡単な家事などの手伝いのほか、買い物代行を含めた支援を行っている。

【問】販売時間は検討できないか。

【答】全ての世代に周知するには課題があるが、地域の皆さんと検討してPRしていきたい。

【問】民生児童委員等の関係者に周知しているか。

【答】社会福祉協議会の方でPRしている。依頼会員は増えているが協力会員の対応ができていない。

【問】協力会員の依頼はしていないのか。

【答】社会福祉協議会にお願いして年1回サポーター養成講座を開催し、協力会員を増やしている。

【問】移動販売について幅広い世代に周知してはどうか。

ないか。

【答】コープこうべの都合で現状の時間配分になっているため、検討についてアプローチする。

●買い物お助け帳

平成27年度に高齢者の買い物支援のために、加東市商工会との連携により、宅配・宅食・出張サービスなどが可能な店舗一覧を記載した冊子「買い物お助け帳」を発行し、希望者に配布している。現在も希望者に渡しているが、現状では高齢者ニーズとマッチングの問題もあり効果的な活用に至っていない。

●商工業振興協議会の活動状況について

【問】アクションプラン等を作成し目標を決めて実施してはどうか。

【答】中長期を見込んだ計画を商工会等と調整をふまえて取り組んでいきたい。

●その他の事務調査

●子育て世帯の経済状況と生活実態調査 調査結果報告について

●農業共済組合の1県1組合化への取組について

●天神東崎鹿谷土地区画整理事業について

議会日誌		《主なもの》	
2月		5日・全国市議会議長会基協 議会議長会	
6日・議会運営委員会		7日・兵庫県市議会議長会総会	
8日・総務文教常任委員会		産業厚生常任委員会	
13日・兵庫県広域研究大会		兵庫県地方行政課題研究会	
14日・議会報告会実行委員会		公務災害補償組合議会	
22日・議会運営委員会		全員協議会	
26日・議会広報委員会		3月	
1日・第84回加東市議会定例会 （初日）		4日・総務文教常任委員会	
5日・産業厚生常任委員会		7日・議会報告会実行委員会	
11日・予算特別委員会		12日・予算特別委員会	
13日・予算特別委員会		15日・議会運営委員会	
18日・第84回加東市議会定例会 （第2日）		20日・議会広報委員会	
22日・第84回加東市議会定例会 （第3日）		全員協議会	
議会運営委員会			

行政視察

視察先..

平成31年1月30・31日
三重県鳥羽市、玉城町
滋賀県東近江市

平成31年1月30・31日の二日間、議員全員で行政視察を行った。

鳥羽市では、「予算決算常任委員会制」について、玉城町では、「予算決算常任委員会制」と「元気なまちづくり事業（オンデマンドバス）」について。そして、東近江市では、「中心市街地活性化基本計画」と「ビジネスホテルの誘致」について、それぞれ、議員、事務局職員、事業担当職員からお話を聞いた。



鳥羽市議会



東近江市議会



詳細報告は、「加東市議会」のホームページをご覧ください。



玉城町議会

小・中学校のいじめ問題とその対策について

石井雅彦 議員



問 いじめによる不登校や最悪の場合には自らの命を絶つたりする事案が絶えず報道されているが、平成30年度の市内の小中学校でいじめと認められる事案は何件報告されているか。

答 平成31年2月現在、小学校で125件、中学校で25件となっている。小学校は、昨年度71件と比較して増加しているが、これは教員のいじめ認知の意識が高くなり、指導支援が増えた事やそのことにより子どもたちが教員や保護者に相談しやすくなったことが原因だととらえている。

問 本年度いじめについてどのような取組をされてきたのか。

答 いじめの継続、再発を防止するため、被害者の教育相談を3カ月間継続し、いじめが完全に解消されているか保護者とも連絡を取り、被害児童の支援を行ってきた。本年度からいじめ問題対策連絡協議会を開催し、関係機関と連携し具体的ないじめ防止の取組や情報共有を行ってきた。

問 昨年の4月に「加東市いじめ防止基本方針」を策定され、「いじめ対応チーム」を各学校に設置したが、その効果は。

答 いじめの予兆であっても特定の教員だけで抱え込まず、組織的な対応に努めた。子どもたちの困っていること

を確認し、指導支援の方法を具体的に検討した。小学校の対応件数の増加も効果の一つだととらえている。

問 市の「いじめ防止条例」を制定する考えはないか。

答 現在は「加東市人権尊重のまちづくり基本計画」学校いじめ防止基本方針に基づいて取り組んでおり、まずはこの計画を着実に執行していくため現在のところは考えていないが、今後はいじめの未然防止、早期発見、いじめへの対処の基本的な方針を示せるよう研究していきたいと考えている。

問 いじめ対策について今後の施策は。

答 引き続きいじめ問題対策連絡協議会を開催し、関係機関との連携を深めながら、学級の中で「いじめは絶対に許さない」という集団づくりを進めていく。



法務省いじめイメージイラスト

その他の質問

□ 移住・定住促進について



市民アンケート等は市民の生の声として 優先的に施策に反映すべきではないか

小川 忠 市 議員

問 平成25年度の後期基本計画策定時の市民アンケートでも「公共交通」は重要性が高く満足度が低い結果である。この5年間は市民の満足度が全く上がっていない。

この現況に対する市の見解は。

答 「公共交通」は前回に比べ満足度が下がったという結果は重く認識している。

平成29年3月に地域公共交通網形成計画を策定し、17の施策を掲げ鋭意取り組んでいる。即結果が見えるという簡単なものではないが、平成30年度において自主運行バスはひとつの形になった。

平成31年度は新たに2地域への導入を実現していきたい。また、翌年度以降は市街地部分においてデマンドタクシー等の巡回交通の試験運行にも取り組んでいきたい。徐々にではあるが形にしていきたい。

問 Bio周辺へバスターミナルを整備することが「公共交通」の市民の満足度が上がることにつながるのか。

答 バスターミナルの整備は交通網の活性化とまちの拠点の活性化の双方の視点的施策である。

このバスターミナルは、バス事業者と協議し観光バスや多くの公共交通機関、自主運行バスの停留所ということで市の交通の結節点のメインとして進めている。それと合わせてまちの拠点づくりとして

進めていきたい。

市は、ファシリティマネジメントの視点に立った公共施設の適正化を行ったか

問 公共施設の適正化の「ファシリティマネジメントの視点」とは何か。

答 利用者の満足度の最大化とコストの最小化をいかに図っていくかである。

問 平成30年度は公共施設の適正化をどのように戦略的な維持管理・更新・処分等を行ったか。

答 図書館を3館体制にしたが、中央図書館の開館時間の1時間延長や中央図書館と滝野図書館の休館日を違えることで市民サービスを維持した。また、社こども園等の集約化に伴う加東みらいこども園の整備や三草こども園の民営化、東条公民館等の取壊しと跡地の活用などがファシリティマネジメントに基づいた取り組みである。

その他の質問

- 2025年問題を見据えた加東市の高齢者福祉施策についての対策は
- 子ども虐待に対する市の対策は



旧図書・情報センター



加東市の農業の現状と今後の課題

古 跡 和 夫 議員

問 認定農業者及び団体の経営の現状について。

答 認定農業者は5年後の農業所得450万円を目指し、ほとんどが目標準達成している。生産協同組合は、機械の共同利用、麦大豆など営農計画に従って農業経営を営み運営に努力されている。

問 加東市として新規就農者養成の計画について。

答 希望者には加西農業改良普及センターと連携し、県立農大の研修などの情報提供等のサポートを行い、本格的に農業で生計を立てる人には、青年等就農計画の認定を受ける事を勧めている。就農から5年後に200万円の農業所得を目指す計画を、普及センターの指導を受けながら経費や売り上げなど農業経営に必要な知識を習得することができるとしている。

問 耕作放棄された水田や畑に対する対策について。

答 農地パトロールを行い、利用の状態を確認し、適正管理指導文書や利用意向調査書を送付している。

問 イノシシの年間捕獲について

答 猟友会加東支部に有害鳥獣捕獲許可を出し、年間を通じて箱ワナによる捕獲ができる体制をとっている。

問 加東市の農業の現状と課題は。

答 高齢化、離農、担い手の確保が大きな課題。担い手になる若い人に寄り添って話し合いながら増やしていきたい。

加東みらいこども園のLED照明器具について

問 みらいこども園のLED照明に使われているブルーライトについて。

答 電球色のLEDを使用しているが、白熱電球、蛍光灯の入手がむずかしい。今後、有害性が立証された場合は、対応を行う。

加東市の進める小中一貫校に関して

問 東条学園は9年間同じ学校に在籍している子どもにはつらい環境になることが予想されるが。

答 東条学園では複数の学級になるので、固定化しないように取り組みを進める。

問 日本各地の小中一貫校で6年生の育ち方が問題になっている。加東市も現在の方針を見直してどうか。

答 全国の小中一貫校の教職員は6・3制以上に思いやり、自己肯定感やコミュニケーション能力が高まったとしている。義務教育修了時に、子どもたちがどのように育っていたかが大切であり、それに向けて系統性、連続性のある教育をしていく。



北はりま消防組合の負担金について

大畑 一千代 議員

問 関係市町の負担金は、均等割2、人口割8の割合で算定しているが、本年4月以降、多可町が24時間体制になるとともに西脇署の管轄になる。体制が大きく変わるのであれば負担金の在り方も見直すべき。

仮に、本部を除く署所配置の職員数で全体経費（本部経費を含めるのは適当ではないが）を按分すると、現行の負担金より西脇市で約4千6百万円、加東市で約2千4百万円安くなり、その分加西市と多可町が増えることになる。

このことを組合議会で質問したが、管理者である西脇市長の答弁は「消防組合全体で、3市1町の区域全体の消防・救急業務に対応していくのだから各市町の署所の数、職員数にこだわるのは適当でない」とのこと。

消防・救急の業務は、職員数や署所の位置によって、住民の受ける利益が大きく左右される。そのため、拠点は各市町2つで協議していたのが、多可町が3拠点を希望され、加西市も従来の3拠点となったのでは。

副管理者である安田市長から「見直しの協議は終わっていない。今後も検討・協議を続けていく」との答弁があったが、改めて、安田市長の思い、協議の見通し等について尋ねる。

答 平成28年7月から11月にかけて、一旦は各市町見直し案を提出することになったが、加東市と本部のみの提出で、他の市町は「当初決めた負担割合は変更する必要はない」として案は出されなかった。「当初決めた他の様々な事柄が変更されているのだから、現状に即した負担割合にすべき」と終始一貫して主張してきたが、受け入れられなかった。

加西市からは「多可町が24時間体制になった後に」という話もあり、再度、管理者会で提案し、全市町から見直し案が提出され協議できることを切望している。

東条地域路線バス廃止への対応

問 神姫バスとの協議の状況は。

答 高校生への影響が大きいため、天神電鉄小野駅線は来年3月まで存続し、他は9月末で廃止される方向で協議している。

問 運転手不足ならばコミュニティバスの運行ができないと思うが。

答 バス事業者からは、加東市での運行の受託は難しいと聞いている。

その他の質問

□東条文化会館等について



ダイバーシティ・インクルージョンの
市政への意識と位置づけについて

廣畑 貞一 議員

問 「ダイバーシティ・インクルージョン」の市政への意識と位置づけについて、どのようにとらえられているか。

答 ダイバーシティ・インクルージョン社会とは、多様性を認め合い、LGBT（性的マイノリティ）等、全ての人々を孤独や孤立、排除や摩擦から援護し2019年度は人権が尊重される加東市の実現に向け、第2次加東市人権尊重のまちづくり基本計画に盛り込む。

問 成育基本法が制定され加東市としての取り組みについて伺いたい。

答 医療、保健、福祉、教育等との連携を更に強化し、成育基本法の趣旨に沿った、成育医療等が切れ目なく提供できるよう取り組んでいく。

問 1つ平成30年度の「加東の教育活動」の成果と課題、その課題解決策。

答 1つ平成30年度の「加東の教育活動」の成果と課題、その課題解決策。

2つ加東市立小中学校の学力向上について。3つ加東市教育委員会並びに市内小中学校と兵庫教育大学との連携について。4つ教育長の「教育哲学」について。以上4点について伺いたい。

2つ目、児童生徒一人ひとりの習熟状況に応じ、問題データベースやタブレットパソコンを使ったドリル教材を活用し、個に応じた指導をより一層充実させる中で「できた」「分かった」という自信を持たせ、「もつと学びたい」という学びに向かう力を高める。3つ目、小中学校での大学・大学院の学生の教育実習等の受け入れを積極的に行っている。さらに、「臨床心理学」「特別支援教育」等を専門に学ぶため、教員を大学院に派遣している。加東市教員の資質向上のため、今後より一層連携を深めていく。

4つ目、「傘さして花に水やる子どもかな」、雨が降っているにも傘をさしながら花に水やる子どもの姿を見て、自分の教育実践の力のなさを思い知らされた苦い思い出である。また子どもはしんどさに寄り添えることができなかったことへの苦しさは、今も教育に関わる仕事をしていく中で大事にしている柱である。これらの苦い経験を基に小中の先生方の良さを融合させ、15歳の春を迎える中学生の姿を共に共有できる小中一貫校の教育実践を通して、「ふるさとを愛し、自らの夢に挑む自立した子ども」の実現に取り組んでいくことを約束する。



東条地域小中一貫校の建設について

鷹尾 直人 議員

問 東条地域小中一貫校の建設場所は、昨年6月に兵庫県が「想定される最大規模の降雨による洪水浸水想定区域」を発表し、3.4m浸水する説明を受けた。また、2月には、現東条中学校に隣接する裏山が6月に「土砂災害特別警戒区域」いわゆるレッドゾーンに指定される予定とのこと。一番大切な「安全性」に赤信号が灯ったのではないか。

答 洪水浸水区域図では、千年に一回程度起こりうる大雨より大きい規模の降雨時には、東条文化会館では最大浸水深が3.4mになる可能性がある。従来は、建物の浸水深高1mとしていたが、再検討し小中一貫校の1階フロア高から最大1.8m浸水すると想定した。3階の大会館は、1階より7.6m高い位置で、災害対策基準法で求める条件をクリアしているので「指定緊急避難場所」になる。通常の建物より1.25倍の強度を持たしており、より安全性が高い計画としている。また、レッドゾーンとは、災害時に発生すると想定される土砂の力によって建物が損壊する範囲のことである。イエローゾーンの崩壊予測による土砂の流出は、県道を挟んだ東条学園校舎建設予定地にはない。また、安全な学校の立地条件は通常の学校生活における安全の確保も重要である。第一に通学路の環境整備が整っ

ている。第二に消防署が近く、緊急時に迅速な救急活動が可能である。そして、平時から安全に対する教育、防災教育も十分行う。子どもの安全を確保することは必須だ。ハード・ソフト両面において、あらゆる災害に対処していく。

市長・市議会議員同時選挙の実施について

問 同時選挙を実施するには、議会が自主解散することが前提であるが、市議会議員の選挙が、酒米山田錦の特A地区である加東市で、収穫時期の10月中旬に実施される。4月の市長選挙と同時に実施すれば投票率も向上し、選挙経費も削減できる。職員も事務が一度で済み、行財政改革にもつながるのではないか。

答 先の市長選挙の投票率は、41.39%、市議会議員選挙の投票率は、51.49%。同時選挙となった場合は、それぞれの選挙への関心が高まるなどの相乗効果により、投票率が向上するものと期待できる。経費削減については、投票所関係等の共通経費で400万円、時間外勤務手当約180万円の減額が見込まれる。そして、投票事務従事者の事務効率を従事する職員数で表すと、延べ150人の削減が見込まれ、職員の負担が軽減される。



市役所でパスポート（旅券）の申請、受取手続きを

長谷川 幹雄 議員

問 兵庫県の中心部である加東市で近隣各市町の窓口として申請や受け取りができないか。

答 この事務は県が行うこととされており、県では、各市町における当該事務処理件数の見込みや、事務移譲を行った場合の効果を見極めて、事務移譲とする考えである。また、県では土・日曜日においても当該事業を行っており、現時点での加東市の規模及び状況からは、加東市への事務移譲を行うことは考えていない。

各選挙における投票率の低下について

問 近隣市町よりも一段と投票率が低い原因の分析と対策について。

答 とりわけ低調なのが、20歳代、続いて低いのが18歳、19歳である。改めて若年層を対象とした主権者意識を高める啓発の取組が必要と考える。選挙出前事業等で全国的な傾向は伝えているが、若年層に対して、身近な情報提供ができていなかった。今後は、選挙出前事業等で当市における投票率の状況、若年層の投票率の状況を伝えることにより、より身近なものとしてとらえてくれるものと思っている。

地域公共交通の今後について

問 運行業者との話し合いの経緯について。

答 神姫バスとはこれまでから、東条地域における路線バスを含めた公共交通について協議を行うなど情報共有を行ってきた。現在、神姫バスでは深刻な運転手不足に直面しており、その不足を補うためには赤字路線の整理が必要のため、天神電鉄小野駅線を本年9月末で撤退する意向が示されたが撤退の時期を延期するよう強く要望し、その後も継続して協議を行うなど十分に話し合いを重ねている。杜天神三田線厚利経由の新設についても、協議を行っている。実現に向けて粘り強く協議を進めていく。

問 今後の自主運行バスの取り組みと方向性について。

答 地域との連携、協働で取り組む自主運行バスが住民の移動手段として有効に機能していることから、必要な地域において地区、自治会の役員、住民を対象とした説明会を開催し、地域住民の機運を高め積極的に進めていきたい。



加東みらいこども園の 開園に向けた進捗具合について

別府みどり 議員

問 入所決定までの経緯と現段階での受け入れ状況は。

答 教育利用を希望される3歳児は定員を上回る申し込みがあり、抽選会を実施し入所者を決定し、保育利用を希望される方については利用調整結果に基づき決定した。現在までに2回の入所準備説明会を行った。現在、国基準の待機児童の該当はない。また、教育については、カリキュラムを作成しており、幼保連携のこども園として充実した教育に取り組んでいく考えである。

問 駐車場スペースは十分であるか。

答 駐車可能台数は、41台であるが、今後の利用状況により隣接の公共広場駐車場の利用も検討しており、行事の際などは、臨時の駐車場として、その管理者と調整し、利用していきたいと考えている。

問 給食のアレルギーマ対策と、アナフィラキシーショックに対する備えは。

答 小麦アレルギーマにも対応できるように、アレルギーマ専用調理室を設けている。アナフィラキシーショックに対しては、アレルギーマの児童を預かる際に、園長・調理師・保護者が面談を行う事とし、給食に対する注意事項等について調整を行い、必要であれば内服薬やアドレナリン自己注射薬（エピペン）を預かるケースがある。なお、この自

己注射薬を預かるにあたっては、保育士等への研修を行っている。

空き家の利活用について

問 空き家バンクの成約数と、ホームページ運営に関して。

答 この3月までの、空き家バンクの登録件数は24件、そのうち成約件数は11件である。また今年度、空き家活用支援事業の申請が計4件あり全て成約している。空き家バンクのホームページについては、加東市ホームページの一番目につくところで周知を行っている。空き家の総合的な理解をいただくとともに、空き家バンクなどを利用した利活用促進のための情報提供を行っていく。

問 窓口の一元化や情報の共有についての考えを伺いたい。

答 今年度より、空き家対策・空き家の利活用に関する窓口を都市政策課で一本化している。定住移住に伴う相談については、まちづくり創造課の定住移住総合相談窓口にて対応し、関係部署と連携が必要な内容については共有を図って支援している。

その他の質問

□女性のがん検診について



約2億円もかけてリニューアルした、 とどろき荘について

北原 豊 議員

問 約2億円もかけてリニューアルしたとどろき荘で、失敗がはつきりした場合はだれが責任をとるのか。

答 とどろき荘旧館の取り壊しと公民館機能を移設する工事で無駄はない。施設運営の責任は、市にある。

問 約1億円で落札した、入札減が1%もない1者のみ入札したタブレットパソコンがあり、加東市も競争入札の言葉どおり2者以上参加しない競争入札は不成立にするように、変更する予定は。

答 市契約規則を変えることは予定していない。

問 タブレットパソコンで見積り依頼もしていないのになぜ見積りがあるのか。

答 通告書に書いてあるが、今日資料を用意していない。

問 安取雨水ポンプが大雨時停止し、より危険になることを河高地区には説明したのか。

答 加古川の水位が計画高水位を超えると、堤防を守るため停止せざるを得

ないことは平成29年3月の工事の事前説明会にて説明した。

その他の質問

□一貫校屋上プールの直接工事費5500万円の詳細（内訳、図面）について

□公共交通会議における市の責任について

□デジタル防災無線の野外に設置したアンテナの必要性について



介護予防としての フレイル予防について

岸本眞知子 議員



問 厚生労働省は2018年、フレイル対策事業を本格的に取組開始。兵庫県においても2017年「健康づくり推進プラン(第2次)」で具体的な目標や取組を定め、高齢者の健康づくり事業にフレイル予防という新たな概念を掲げている。

加東市におけるフレイルに対する認識及び介護予防事業にフレイル予防事業を加える考えは。

答 フレイル予防は身体面、精神面、社会面といった多面的な捉え方で高齢者の機能低下を防止するもので、口腔嚥下機能ケア、日頃の運動、バランスのよい食事などに着目した介護予防重度化防止については健康長寿の延伸に繋がる大変有意義な取組と認識している。

加東市においては、フレイル予防という名称は使っていないが、これまでからもそれぞれに事業を行ってきたおり、フレイル予防の考えに沿った事業を今後も継続していきたいと考えている。



千鳥川桜堤公園

加古川河川築堤の景観形成について

問 国土交通省は「河川景観の保全と考え方」なるガイドラインを示しており、河川景観のデザインに着目されているところである。

加古川河川改修築堤の景観形成については、天端を舗装するのか、並木道や遊歩道とする計画はあるか。

答 加古川水系河川整備計画では、加古川の河川景観に関して、流域の人々が川との関わりの中で共に築いてきた地域の原風景となっているため、良好な河川景観に配慮した整備に努めるということになっている。

天端舗装や並木道、遊歩道の計画については、河川計画の考え方に基づいて国土交通省と協議をしていきたいと考えている。ただ、堤体に影響を与えるような並木道は、慎重に判断しなければならぬ。

保育の利用調整について

藤尾 潔 議員



問 保育園に入園できないとの声を聞くが利用調整の実態は。

答 3歳児以上は市全体として入所希望より利用定員が上回っている状況だが、0〜2歳児においては、544名の入所希望に対し76名の入所保留となっている。

問 対策は。0〜2歳児限定の小規模保育所の設置なども検討すべきでは。

答 小規模保育所の設置も検討する。また、来年度の募集にあたっては私立の園に定員の弾力運用を求めている。

問 数年来同じことを言ってきた、状況が改善されないのは保育士不足が理由であることが明確なのに市は対策を講じていない、明石市などでは独自の処遇改善策を講じている。

この状況で、子供を預けられないから「仕事が見つからなかつたり」「育休を延長したり」された結果、市から「国の定義する待機児童はいない」と説明されても納得できない。すでに、「来年度の募集に向けて」などと言っていることがおかしい。今年度の入所保留者に対してもできるだけの対策を講じつつづけるべき。

答 保育士の追加募集等の対策を引き続き進めていく。

地域公共交通について

問 天神電鉄小野駅線の廃止の新聞報道があった。廃止後、自主運行バスでカバーすると言っても、自主運行バスのダイヤでは高校生の通学に対応できないと思うがどうか。

答 自主運行バスは高校生の通学利用には対応していない。

問 東条地域の保護者からは、自転車通学させるしかないとの声もある。以前は話のあった小野市らんらんバスの導入に向け小野市と交渉してはどうか。その際、現在社営業所から回送で走っているらんらんバスも旅客を乗せて北播磨総合医療センターまで走ってもらうてはどうか。

答 そのような考えはない。加東市民の移動手段は加東市が守る。

問 市役所目線でそのようなことを言っても、加東市民が市内で完結しない医療を必要とする場合は、他市へ出かけねばならないのである。市民に市境は関係ない。

答 市民アンケートでも北播磨総合医療センターへ移動する市民は多かった。何らかの方策は検討していきたい。

その他の質問

□ 社外環状線の未改良区間について



「加東市のこんなこと知ってますかあ」を皆様にお伝えする『知っとう加東!』

第二回目は、表紙にも採用させていただいております、加東市立三草小学校の恒例行事でもある「ふれあい茶摘み」をご紹介します。



三草小学校は全国でも珍しい、茶畑が校内に広がる学校です。茶畑は六十年以上の歴史があり、現在は保護者と教職員、地域の方が共に維持管理に取り組んでいます。新芽の摘み方は、先端から三枚目の葉までを摘む「一芯

三葉」の手法。摘み方の説明を受け、ひとり五百グラムを目標に作業を続けます。

この「ふれあい茶摘み」は、三代交流の場としても親しまれています。茶摘み歌や手遊びを楽しんだり、名刺交換をして交流を深めた後、低学年は地域の方に教えてもらいながら慎重に、高学年は慣れた手つきで新芽を摘み取っていきます。

摘み取った茶葉は乾燥させて、おいしい「三草茶」として予約販売されます。

また、加工品として販売されている「三草茶うどん」や、市内高校生らが商品開発した「三草茶プリン」「三草茶クッキー」なども人気です。



今年もたくさん、おいしい新茶が仕上がることを楽しみにしています。

(別府みどり)

議会の傍聴にお越しく下さい

加東市役所5階に議場があります

今後の予定	6月3日(月) 9時30分	定例会(初日)
	4日(火) 9時30分	総務文教常任委員会
	5日(水) 9時30分	産業厚生常任委員会
	18日(火) 9時30分	定例会(2日目 一般質問)
	26日(水) 9時30分	定例会(3日目)

○定例会はKCV(121ch※録画可能)および加東市議会HPで生放送をし、KCVでは録画放送もしております。スマートフォン等で右のQRコードを読み取って『加東市議会』のホームページをご覧ください。ホームページ <http://www.city.kato.lg.jp/gikai/index.html> 電子メール gikai@city.kato.lg.jp



クイズ&アンケート募集

かとう市議会だよりへ、市民の皆様からのご意見をお聞かせください。

クイズに正解し、ご意見を書いていただいた方の中から抽選で5名様に、道の駅とうじょう特産館とコスモスの館で使える1,000円分の商品券を差し上げますので、奮ってご応募ください。なお、当選者の発表は商品券の発送をもってかえさせていただきます。

クイズ ◎に入る文字は?

『毎週○曜日に滝野地域の移動販売車が巡回しています。』

応募方法

- ① クイズの答え
- ② 市議会だよりや、市議会へのご意見をハガキにお書きの上、
〒673-1431 加東市社50
加東市議会事務局 Q & A 係
までお送りください。(5月20日必着)

議会広報委員会

委員長 井上 茂和
副委員長 高瀬 俊介
委員 桑村 繁則
藤尾 雅潔
石井 直彦
鷹尾 直人
別府みどり

編集後記

月、五月といえは端午の節句。青空高くたなびく鯉のぼりの雄大な姿に、日本の伝統文化を感じます。

ところが残念なこと、日本の各地に伝わってきた伝統文化がなくなってきたてきています。理由の一つに「休暇が取れない」があります。こういつた伝統文化は、コミュニケーションづくりを担ってきたものです。伝統文化・行事を維持継続することで、地域のコミュニケーションも維持できるのではないのでしょうか。

最近企業で社員が、地域のお祭りや学校行事などに参加し、地域貢献活動ができるよう、「コミュニケーション休暇」という時間的な支援を行います。加東市の企業でも、ご検討いただければと思います。まず、加東市役所から実施しませ

(鷹尾直人)